

都市再生整備計画 事後評価シート
吉川中央地区

平成23年3月

埼玉県吉川市

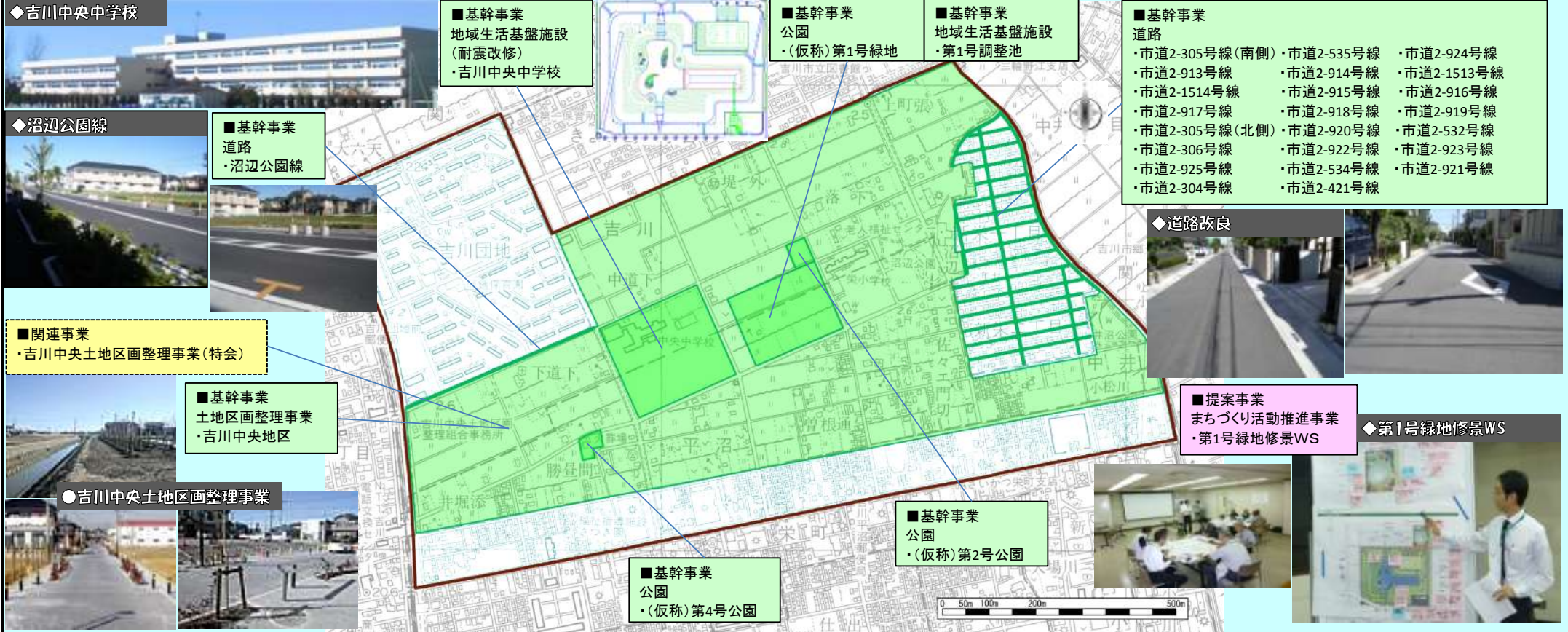
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	吉川市	地区名	吉川中央地区			面積	125ha			
交付期間	平成18年度～平成22年度	事後評価実施時期	平成22年度	交付対象事業費	2,461百万円	国費率	0.407					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 基幹事業 道路(沼辺公園線、市道2-535号線、市道2-924号線) 公園[(仮称)第1号緑地、(仮称)第2号公園、(仮称)第4号公園] 地域生活基盤施設 土地区画整理事業(吉川中央地区) 提案事業 まちづくり活動推進事業(第1号緑地修景WS)									
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道2-305号線)	事業内容を検討し、工事箇所を拡大を図ったことにより、事業を2分割するため削除。			影響なし					
		提案事業	地域創造支援事業(学校耐震・大規模改修工事)	国の平成20年度二次補正予算の成立に伴い、事業項目及び事業費の精査を行ったことにより削除。			影響なし					
	交付期間の変更	当初	平成18年度～平成22年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
		変更	なし									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	憩いの場と避難地確保	m ² /人	1.10	17	3.77	22	3.77	○	あり なし	区画整理事業の進捗に伴い公園、緑地等の供用開始が行われ、憩いの場かつ避難地が確保できた。	平成23年7月
	指標2	浸水被害常習地域の解消	ha	19.9	17	0.0	22	0.0	○	あり なし	区画整理事業と並行して、調整池の整備と道路改良による側溝断面拡大を行い、排水機能の強化を実施した結果、地区内の浸水被害の軽減に寄与し、安心して生活できるような空間提供ができた。	平成23年7月
指標3	面整備による人口定着	人	10,400	17	11,000	22	11,601	○	あり なし	区画整理事業を行い快適で機能的な市街地の形成を行い、既成市街地においては道路改良により幅員拡大を行い、ゆとりある道路空間の確保ができ、良好な居住空間の創出ができた。	平成23年7月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・街路等の整備改善により地区内の交通ネットワーク環境が発達したことにより、生活利便性が向上した。 ・中央中学校の耐震補強が行われ、生徒や地域住民の安心・安全が図れた。 ・スポーツ利用の可能な多目的広場やジョギングコースを設置したことにより、地域住民の健康を促進した。 ・面整備事業により、特に若い世代、子育て世代の方が増加している、まちの活性化に繋がっている。 ・公園のワークショップ等、住民参加を通じてコミュニケーションが深まった。 											
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	・第1号緑地修景WS	都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				WSで議論された内容を活かし、意見を反映させた地域住民にとって利便性の高い緑地の修景を行っていく。					
	持続的なまちづくり体制の構築	・(仮称)第1号公園、(仮称)第3号公園、(仮称)第4号公園における、除草や清掃などの公園愛護活動の地元協力支援	都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				公園の供用開始後、地域住民の方々が公園等の美化活動を通じて地域のコミュニケーションを図り、公園等の防犯に資し快適な利用に寄与するための体制を構築する様努める。					

様式2-2 地区の概要

吉川中央地区(埼玉県吉川市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 防災及び環境面の強化・改善を行い、水と緑のあふれるまちづくりを実現する。 目標1: 公園整備を行うことにより緊急時の避難地を確保すると共に、住民の憩いの場とする。 目標2: 地区内の浸水被害の軽減を図り、居住者が安心して生活できるよう、調整池の整備を行う。 目標3: 快適で機能的な市街地の形成を図るため、街路・上下水道等の都市基盤の整備を行っていく。	憩いの場と避難地確保	単位: m ² /人	1.10 H17	3.77 H22	3.77 H22
	浸水被害常習地域の解消	単位: ha	19.9 H17	0.0 H22	0.0 H22
	面整備による人口定着	単位: 人	10,400 H17	11,000 H22	11,601 H22



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業などにより、都市基盤である道路の整備などが進み宅地の利便性の向上が図られ、良好な居住空間が確保された。 ・区画整理地区に大規模な調整池の設置と側溝改修(断面拡大)したことにより、既成市街地も含めた浸水被害の解消が図れた。 ・区画整理事業の進捗に伴い、公園・緑地の供用開始が行われたことにより、安心と安全、交流促進空間の創出が提供できた。 ・今後も都市基盤の整った安心・安全な環境の更なる形成の為、区画整理事業を継続し、遂行する必要がある。 ・公共施設等の整備が進み、主要な課題が解決されたので、今後も施設の活用等、ソフト面の取り組みをさらに進めていき、快適で魅力あるまちづくりを行っていく必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民活動を取り入れた道路環境づくり: 道路整備などのハード面の課題は解決されたので、今後はそれらをいかに維持管理していくかを考え、美しい道路環境づくりを目指していく。 ◆浸水被害防止の為の継続的な活動: 浸水被害防止を今後も継続していく為、道路側溝の機能低下防止に努める。 ◆交流促進空間の継続的な活用: 公園などの空間提供だけではなく、交流促進空間の機能充実、愛着度の向上を目指し、地元主体の継続的な利用を促進する。 ◆区画整理事業の早期完了: 都市基盤の整った安心・安全な環境の更なる形成の為、事業の早期完了に努める。 ◆地区内人口の増加に伴う地域コミュニティの醸成: 区画整理事業の進展により、人口が増加しつつあり、今後は、新旧住民並びに子どもから高齢者までの多世代住民が交流できるように、地域コミュニティの醸成を図る。